



## 図書委員会発案による 「本読みスタンプラリー」スタート！

金木犀の甘く爽やかな香りが漂い始めました。本格的な秋の到来を感じます。



今月の児童会の月目標は、「読書の秋」にふさわしく「本をたくさん読もう」です。

今朝の集会で、図書委員会の子どもたちから、「本読みスタンプラリー」の取組の紹介がありました。1冊読むごとにスタンプが押しもらえて、5個たまると、「特

別なしおり」がプレゼントされるようです。図書委員会の取組のおかげで図書室に行って本を借りる楽しみが倍増しそうです。

本校は、今年度より国語科の学力向上を目指して授業研究を中心に取組を進めています。国語の学習を進めるうえで、「語彙力の差」が課題として挙げられることが多いです。想像力を付けたり、知識を増やしたりする読書は、語彙力を高めるといってもとっても有効です。図書委員会のおかげで、スタンプを増やしながらか楽しく語彙力アップが図れそうです。

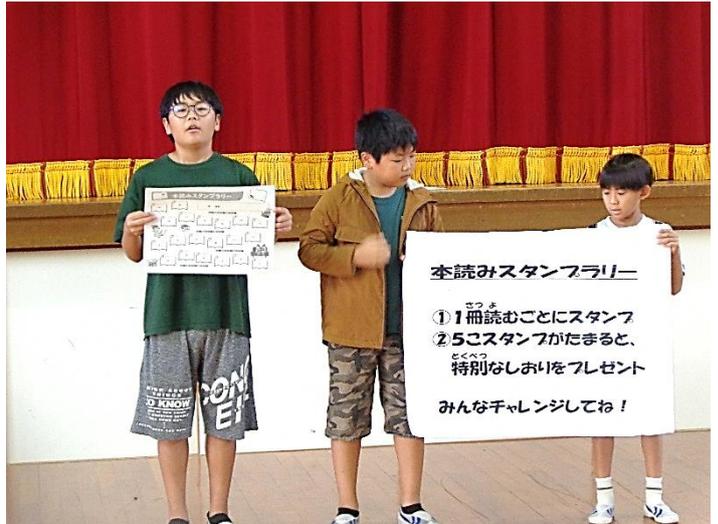
秋の夜長、ノーメディアデーを作って、ご家族みんなで「読書の秋」を楽しんでみるのもいいですね。

## 早速、栽培活動第2弾スタート！



「うわ～、すごくきれいになっちゃう！」と感動の声をあげながら農園に入った1年生！

栽培活動第2弾として、まずはブロッコリーの苗を一人1本ずつ植え付けていました。「また、がんばって水やりせんといかんねえ。」と話しながら、植え付ける姿に、経験者としての貴祿？を感じたことでした。ブロッコリーを皮切りに、次々と秋冬野菜が植え付けられそうです。



# 「読もっか」に掲載されたよ！

9月24日付

「学校でコオロギをつかまえたよ」「モモの種を植えたよ」「アサガオの上にもむしがいたよ」「とうみょうを育てたよ」・・・古都さんの日記の題材は、身の回りで見つけたり、観察・実験したりしたことがいっぱいです。

日記や作文では「〇〇に行ったよ」というように非日常の体験を題材にすることが多いのですが、**日常生活の中**に**だって記事のネタがたくさんあふれています**。そのことを証明してくれる古都さんの日記帳です。

## ホウセンカを観察

★四万十町・七里小★

夏休み、学校から家に帰って帰ったホウセンカを観察しました。さいしょ、わたしはホウセンカのたねがどうやってできるのかわかりませんでした。アサガオみたいに花がしぼんで、その後にできた実がたねになると思っていました。だから、まだかれない実をひらいてみました。そして、その中に白色の小さいたねがいっぱい入っていました。

こんどは、何日かたってからたねの色を見てみようと思えました。色がかわついているかわかりません。夏休みの間、しっかりとホウセンカを観察したり、水をあげたり、たねをとったりしました。

(3年、沖田古都記者)

入浴中の家族の楽しいコマが目に見えるような記事ですね。

お家や学校であった楽しい話を次々としてくれる友里恵さん！「やったこと・見たこと」にプラスして自分の感じたことも上手に伝えてくれます。最近、話すだけでなく文に書く活動にもやる気満々で取り組んでいます。

## お風呂にはいった

10月4日付

★四万十町・七里小★

おとうさんとおとうとといっしょにお風呂にはいりました。おとうさんがおとうとのからだをあらいました。つぎに、かみのけをあらいました。そして、ながしました。そのとき、おとうとが、「あくまだ〜」といいました。ちょっとおもしろかったです。

(1年、西友里恵記者)

## 特別支援教育支援員さん 新たに配置！



今年度は児童数や支援学級数が減ったことから、特別支援教育支援員さんの配置が、昨年度から1名減の3名となっていました。

でも、2学期より2名の児童が本校に転入してくれ児童数が増えたことや、支援に対するニーズ等もあり、教育委員会に要望したところ、「人材さえ見つければ追加配置が可能」ということになりました。

ただ、報道等でご存知の方も多

いと思いますが、教育現場は現在、予算化はできても人材確保が難しい状況が続いています。そんな中、3月に本校教頭を最後に退職された石川先生が、「七里の子どもたちのためなら・・・」と、支援員として再び本校に勤務して下さることになりました。本当に有難いし、心強いです。

本日より「チーム七里」はパワーアップし、15名体制で45名の子どもたちの成長を支えています。どうぞよろしくお願いいたします。